

## 令和7年度 野里保育園 自己評価表

### 1 施設の概要

事業所名	社会福祉法人 野里福祉会 野里保育園		
所在地	鹿児島県鹿屋市上野町 4776-3		
電話番号	0994-42-3577		
評価実施日	令和8年3月31日	評価期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

【 A：よくできた B：まあまあできた C：あまりできていない D：全くできていない 】

### 1 保育の理念・目標・計画など

内 容	評価	現状・今後の取組
① 保育者一人一人が園の保育方針を理解している。	A	毎月のケースワーク研修を通して、保育士ひとりひとりが自身の現場に即した課題に向き合う取組を進めた。
② 園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている。	A	
③ 担任間で話し合っ、保育目標を立てている。	A	
④ 各年齢の発達段階に合わせた指導計画は、一人一人の発達にも留意している。	B	
⑤ 自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	A	

### 2 保育の内容

内 容	評価	現状・今後の取組
① 保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している。	A	集団から個別へ、個別から集団への切り替えにおいて、園児たちに見通しを持たせながら、落ち着いた保育活動に取り組んだ。 保育活動の進め方について職員で共有しながら更に取組を進めたい。
② 子ども一人一人の思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている。	B	
③ 子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	A	
④ 身体的、精神的、情緒的発育等、多面的に子どもの状態を把握している。	B	
⑤ 保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている。	B	
⑥ 行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している。	A	
⑦ 特定の子どもを特別扱いしていない。	A	

### 3 保育園の組織・役割分担

内 容	評価	現状・今後の取組
① 職場内で報告や連絡、相談など連携がとれている。	B	今年度から研修計画を着実に実施し、特にキャリアアップ研修については一定の成果が得られた。8年度も引き続き継続的に実施したい。
② 研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる。	B	
③ 職場の中で各職員が自分の役割を自覚している。	A	
④ 保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	B	
⑤ 各職員は、責任感を持って仕事に向き合っている。	A	

⑥ 各職員が職員会などで必要と思う質問や意見を発言することができている。	A	職員会議を複数の小集団で効果的に運用し、多くの意見を集約できるようになった。
⑦ 研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に活かされている。	B	
⑧ 火災・地震・不審者等に係る訓練に取り組んでいる。	A	

#### 4 家庭・地域社会

内 容	評価	現状・今後の取組
① 保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	B	毎月の職員会議で必要な家庭の状況をピックアップし共有できた。  他園、他機関との情報共有も進めており、職員への情報提供もできている。
② 送迎時に、子どもの様子などを保護者に伝えている。	A	
③ 家庭への連絡など連携を図るように努めている。	A	
④ 家庭環境及び食事習慣など、園以外での子どもの状態を把握している。	B	
⑤ 地域と連携し、行事参画や情報発信に取り組んでいる。	B	
⑥ 他園や関係機関との連携を図り、情報交換など有効な対応に努めている。	B	
⑦ 保護者により対応を変えていない。	A	

#### 5 事務管理・運用

内 容	評価	現状・今後の取組
① 園児一人一人の個人記録簿は、適切に記載し整理や保管ができている。	A	簿冊、個人情報など適切に管理している。
② 園内で知りえた事項や個人情報等に対して、守秘義務は徹底できている。	A	
③ 金銭や物品等を取り扱う場合、適正かつ適切に処理や管理ができている。	A	

#### 6 食育

内 容	評価	現状・今後の取組
① 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	A	食育に関する毎月の会議、ブログ等での保護者への発信など、適切に実施している。
② 栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている。	B	
③ アレルギー疾患等の子どもに対し、保護者との連携を図り適切な対応を行っている。	A	

#### 7 総合所見

記入者 施設長 深水俊彦

記入日 令和8年3月31日

新たに増築した保育室を活用して、各クラスでは、空間的にもゆとりのある保育活動に取り組むことができた。また、面積が増えたことにより、感染対策など保健・衛生面や安全面においても、改善と向上が図られている。

令和9年4月の認定こども園移行に向けて、教育・保育それぞれの魅力づくりに取り組んでいるところであり、当園の保育目標である園児ひとりひとりの「自己肯定感や社会性を育む教育・保育」について、8年度は更に研修等を通して職員の意識改革に取り組んでいきたい。